



2023年2月14日

各位

会社名 株式会社あかつき本社
 代表者名 代表取締役社長 島根 秀明
 (コード 8737 東証スタンダード)
 問合せ先 取締役執行役員社長室長 北野 道弘
 (TEL 03-6821-0606)

2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日付け取締役会決議により、現在の業績の動向等を踏まえ、2022年5月16日に開示した2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正することを決定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期連結業績予想の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	税金等調整前 当期純利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	39,500 ～44,400	1,900 ～3,000	1,800 ～2,800	1,800 ～2,800	1,000 ～1,700
今回修正予想(B)	37,500	1,500	1,200	1,200	600
増減額(B-A)	△2,000 ～△6,900	△400 ～△1,500	△600 ～△1,600	△600 ～△1,600	△400 ～△1,100
増減率(%)	△5.0 ～△15.5	△21.1 ～△50.0	△33.3 ～△57.1	△33.3 ～△57.1	△40.0 ～△64.7
前期連結実績 (2022年3月期)	35,312	1,568	1,229	1,421	1,008

※「税金等調整前当期純利益」は、参考情報として開示しております。

2. 修正の理由

2022年5月16日に開示した当初業績予想の前提と今回の修正理由は以下のとおりです。

(1) 当初の前提(2022年5月16日開示)

証券関連事業における株式市況等の影響や、高齢者施設開発事業(不動産関連事業)における保有物件の売却成否が当社業績に大きな変動を与える点などを踏まえ、業績予想をレンジ形式としておりました。

証券関連事業においては、米国の金融引き締めやウクライナ情勢並びに新型コロナウイルス感染症の状況など経済情勢への懸念が継続しマーケット環境も不透明な中、IFA 預り資産の増加ペースは継続するものとしており、預り資産増加に伴う増益を想定しておりました。マーケット環境の将来見込について、現状が継続する場合を業績予想のレンジの下限、好転する場合を上限として設定しました。

不動産関連事業においては、中古マンション買取再販・リノベーション事業では、中古マンション成約件数・成約㎡単価は堅調に推移するものとしており、収益は前期と同水準を想定しております。

高齢者施設開発事業では、保有物件の一部売却を想定しており、当該売却物件数により、レンジの上限下限を設定しました。

(2) 今回の修正の理由

証券関連事業においては、IFA 預り資産の資金導入ペースは堅調に推移したものの、マーケット環境、特に米国市場において前期末より継続する軟調な展開の影響等により債券のトレーディング損益が大幅に減少し、減収・減益となる見通しです。

不動産関連事業について、中古マンション買取再販・リノベーション事業は概ね順調に推移しています。一方で、高齢者施設開発事業では、当初見込んでいた施設売却交渉の一部に遅れが生じ、来上期の利益貢献となる見込みです。

同様に、当社が保有する投資有価証券（未上場企業株式への投資を目的とした投資組合）において、投資先企業株式の売却は今期末までに完了予定ではあるものの、当初見込んでいた投資組合からの償還益は来上期の利益貢献になります。

これらの状況に鑑みて通期業績予想の修正を行います。

以 上